

まちづくり協議会 福祉部会 広報誌



福祉のめ

発行：老上西学区まちづくり協議会 福祉部会

事務局：〒525-0066 草津市矢橋町 526-1 TEL 565-1995 FAX 565-2000



令和5年度を振り返って

老上西学区まちづくり協議会 福祉部会
部会長 服部 勝義

老上西学区のみなさん、日頃は当学区の福祉活動に御理解と御協力をいただき、大変ありがとうございます。

まちづくり協議会の福祉への取り組みとして、福祉部会が新たな形でスタートしてから、5年目の節目を迎えました。たすけ愛隊「ママの手」主催の「おいにいずカフェ」「にこにこ食堂」についても多くのみなさんにご参加いただき、大変うれしく思います。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が収束してきたため、多くの事業を計画通り、進めることができました。「敬老祝賀会」も4年ぶりに開催することができ、やっとみなさんの笑顔と出会うことができました。ご参加いただいたみなさん、協力者のみなさん誠にありがとうございました。

令和6年度も地域のみなさんが元気で楽しく暮らせるようないろいろな活動をしてまいります。これからも福祉部会の活動に御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

地域安心声かけ訓練 主催：老上西学区社会福祉協議会

11月26日、「地域安心声かけ訓練」を矢橋町において行いました。さて、あなたは困っている様子のお年寄りに「どうされましたか?」と、気安く声をかけることができるでしょうか。町で気になるお年寄りを見かけても、「声かけなんて無理」「どう声をかけたら良いかわからない」と素通りしてしまうこともありますよね。でも、ちょっとした勇気と知識を得ることで、困っている人を助け、住んでいるまちを安心・安全な地域にすることができます。

今回は、矢橋総合会館にて地域包括支援センターの職員による事前説明を受け、会館の周辺で実地訓練を行いました。参加いただきました地域のみなさん、まち協福祉部会のみなさん、大変ありがとうございました。



福祉部会 先進地視察研修

名張地区まちづくり協議会（三重県名張市）に訪問しました。

なばり 『隠おたがいさん』と『まちの保健室』

2月19日、まちづくり協議会の福祉部会員と関係者、併せて20名で三重県名張市にある名張市民センターを訪れました。ここを拠点に活動している名張地区まちづくり協議会では平成24（2012）年に有償ボランティア制度『隠（なばり）おたがいさん』の活動を開始されてから11年間にわたり、お年寄りなどの日常生活支援を進めて来られました。草引きや庭木の剪定、買い物支援や病院への付き添いなど、日常のちょっとした困りごとを親身になって支えられています。



当初は100人程度だった会員数も今では倍以上に増え、年間100件程度だった依頼件数は、1,000件を超えるまでになりました。

代表者の福山悦子さんは、「まちづくり協議会の中の組織としてではなく、自主運営のボランティア組織として事業を進めてきたことで、今日の活動は大きく発展したと思います。「助けて欲しい」と言われたら、「何とかしよう」と協力してくれそうな方に声をかけ、ボランティアをしてもらいました。ボランティアさんの誠実な作業のおかげで依頼数が伸びています。『有償ボランティア』の仕組みを取ることで、依頼者も協力者も気兼ねなく、利用してもらっています。視察に来られた方から、『どのようにボランティアを集めたらいいか』『運営資金はどうやって集めるか』『トラブル対応はどうするか』などと質問されますが、まずは『いっぺんやってみなはれ』とみなさんにお伝えしています。」と語られました。

『隠おたがいさん』
活動の様子



隠
おたがいさん

また、名張市では地域包括ケアシステムとして「まちの保健室」という活動も進めています。これは、市内15箇所の市民センター内に地域包括支援センターの出張所として「まちの保健室」を開設し、市の嘱託職員（社会福祉士や看護師、介護福祉士などの有資格者）を2～3名常駐させて、地域のあらゆる世代の方を対象に健康や福祉に関する相談を受け付けているものです。



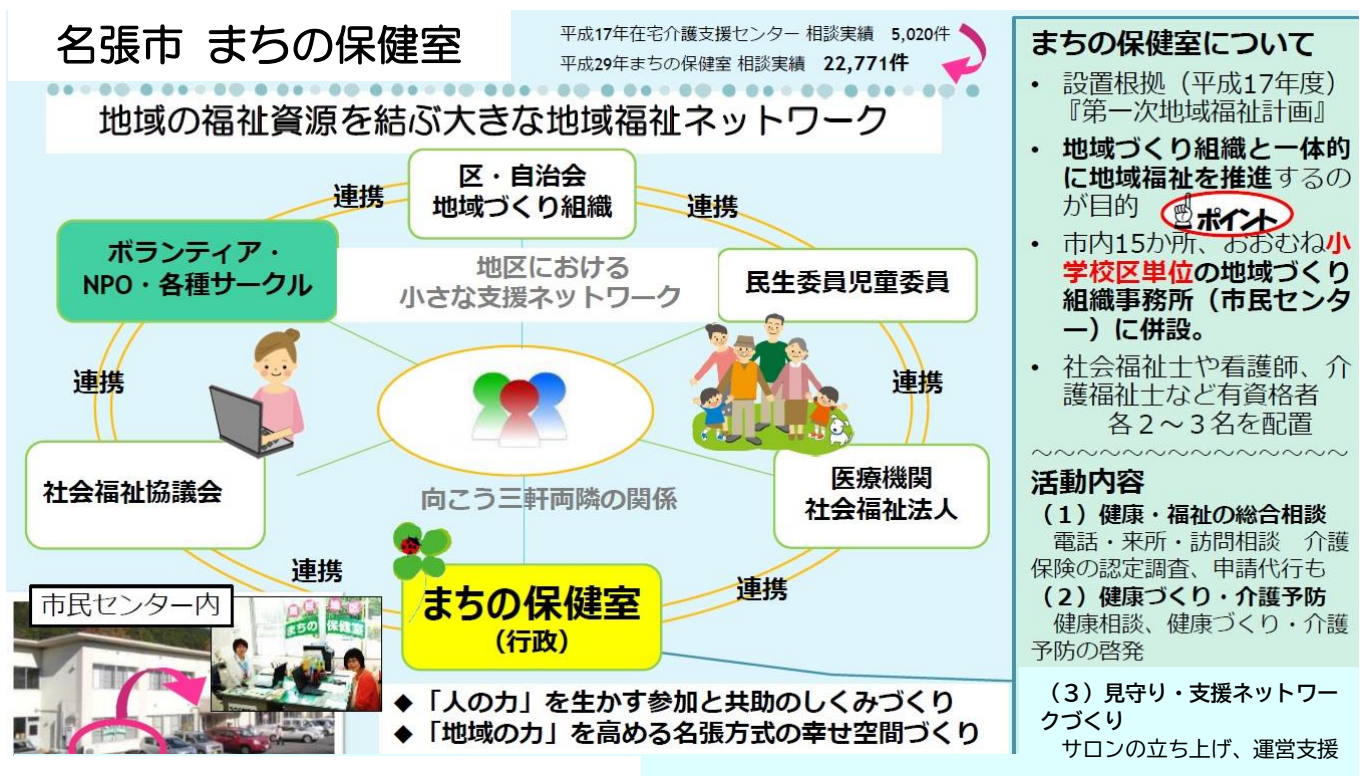
市民センターの利用者が隣接する「まちの保健室」に気軽に立ち寄ることで、健康づくりや介護予防、地域の方の見守りや支援ネットワークづくりへの活用ができています。ここでの活動は「隠おたがいさん」とも連携され、困っている方の支援にも役立っているそうです。

ご説明していただいた保健師の三永さんは、「何より有効なのは、血圧測定です。昔ながらの水銀血圧計で相談者と顔を合わせてお話しすることで、その方とのつながりが深まります。健康や福祉に関するだけでなく、子育て（孫育て）や生活の中の様々な悩み事の相談を受けることも良くあります。健康な時から顔見知りの関係をつくる中で、病気の早期発見にもつながります。民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会、医療機関とも連携することで、理想的な地域包括システムが構築できていると思います」と力強く話されました。

老上西学区まちづくり協議会では、「お互いに支え合いながら、安心して暮せるまち 住んでみたいと思えるまち 老上西」をスローガンに活動をしています。草津市は「誰もが暮らしやすい地域づくり」をめざして地域包括ケアシステムの構築を進めていますが、地域に与えられた「見守り生活支援」や「健康づくり（介護予防）」のテーマについて試行錯誤を続けている状況です。

また、全国的な課題でもある少子高齢化や共働き世帯の増加、核家族化の進行など世帯構造が変化する中で、町内会や各種団体、まちづくり協議会などの役員の担い手不足や、地域活動に関心を持たない住民の増加により地域のつながりが希薄化するといった課題が生じており、この解決のために「有償ボランティア制度」の導入が有効ではないかと考えています。

令和6年度は、老上西学区における「有償ボランティア制度」の導入について福祉部会で検討を進めてまいりますので、地域のみなさんのご参加、ご支援をよろしくお願いいたします。



かやくごはんの配布

2月27日、高齢の方々に少しでも元気になってもらおうと学区内の70歳以上の方に「福祉の福が来る」として、かやくごはんを300食配布いたしました。



協力団体 (順不同)

赤十字奉仕団老上分団、老上更生保護女性会、老上西学区町内会／自治会
たすけ愛隊「ママの手」、老上西学区健康推進員連絡協議会、老上西学区社会福祉協議会



【お詫びと訂正】
「うえすと老上」第32号(3/1発行)に掲載しました、たすけ愛隊「ママの手」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。
(誤)「愛隊弁当(無料)」→(正)「愛隊弁当(100円)」

令和5年度の活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症対策						●(9/18) 敬老祝賀会						
高齢者サロン	●(5/16) 健康寿命を延ばそう!							●(11/11) 地域安心声かけ訓練				
健康作り	●(6/13) 「ボッチャ」体験						●(10/31) メタボ予防	●(12/12) 古新聞でエコバック			●(2/13) 回想法にチャレンジ	
広報・研修			●(6/24) 認知症サポーター養成講座								●(3/25) お花見ウォーキング	
おいにいずカフェ	●(6/7) ●(7/5)										●(2/19) 先進地視察研修 名張地区まちづくり協議会	
にこにこ食堂						●(9/6)	●(10/4) ●(11/1)				●(2/7) ●(3/6)	
	●(4/5)マジックショー 子育てサロン(民児協)				●(8/5)和太鼓					●(12/23)クリスマス		
	●(4/27) ●(5/25) ●(6/22) ●(7/27) ●(8/24) ●(9/28)						●(10/26) ●(11/16) ●(12/21) ●(1/25) ●(2/22) ●(3/28)					



編集後記 今年の冬は暖冬で雪もあまり積もりませんでした。でも、2月末から寒い日が続き、桜の開花も平年並みになるのでしょうか？ 早くお花見がしたいです。(この広報が届く頃には咲いているでしょうね。)
(福祉部員一同)